

551.24(521.28) : 66.076 : 552.578.1

横浜市北東部の天然ガス地下貯蔵予察報告

島田 忠夫* 矢崎 清貫*

緒 言

昭和35年3月7日から12日間、横浜市北東部の天然ガス地下貯蔵に関する予察調査を行なった。

横浜市付近の天然ガス地下貯蔵については、東京ガス株式会社が横浜市星川地区の星川ドーム構造について地下貯蔵の調査を行なったことがあるが、星川ドーム以外にも地下貯蔵の候補地が存在するかどうかを予察した次第である。

この地域の新第三系は海成鮮新統の三浦層群の上星川累層と橋樹累層が分布し、上位を第四系の相模層群が覆っている。横浜市北東部は第三紀層の露出が非常に悪く地表のほとんどは関東ローム層に覆われていて、地質構造の判然としない地域であるが、ところどころに露出している地層の中で鍵層として追跡できるのは、文献1による浅間タフ(SG)、宮田タフ(MT)、第1星川タフ(H₁)、第2星川タフ(H₂)などである。

これらを追跡すると従来知られているように、鶴見地区は多くの断層群により寸断されているうえ地層の傾斜もゆるく、ほとんどが2~3°である。断層は正断層が多

* 燃料部

く傾斜は60~80°で東西方向の南側落ちのものが多く、落差は普通5~15mである。この断層群の形態は千葉県茂原ガス田の形態と似たところがあり、ガス田の将来性に対しては今後の開発に興味を持たれるが、地下貯蔵の第一義的条件である背斜構造またはドーム状構造を求められる場合には、当地域は不適當であると考えられる。なお位置交通や利用面上の要求からみて、地表調査では不明の鶴見区丘陵地帯東方や、川崎市方面の沖積層下の第三紀層の構造に関心が引かれる。

(昭和35年3月調査)

文 献

- 1) 伊田一善外8名：神奈川県下の天然瓦斯地下資源、神奈川県、総合計画資料第8輯、1955
- 2) 伊田一善・三梨昂・影山邦夫：日本油田ガス田図2、横浜、地質調査所、1961
- 3) 大塚弥之助：関東地方南部の地質構造〔横浜―藤沢間〕、地震研究所彙報、第15号、第4冊、1937

551.24(521.62) : 66.076 : 552.578.1

名古屋市近傍の天然ガス地下貯蔵予察報告

島田 忠夫*

1. 緒 言

昭和35年2月11日から19日までの間、名古屋市近傍の天然ガス地下貯蔵に関する予察調査を行なった。

予察を行なった地域は大高町・大府町・桑名市・四日市市などであつたが、これらの地域のうちで将来の天然ガスの地下貯蔵に適すると思われる候補地は、桑名市西方地域である。この地域について地質その他の概況を報告する。

2. 地 質 概 況

* 燃料部

桑名市付近の地質についてはすでに文献1および文献2によつてその詳細が報告されているが、文献2に発表されている地質図を第1図に、地質断面図を第2図に示した。この地域の基盤は養老山脈を形成する古生層で主として砂岩・頁岩からなり、珪岩・珪質石灰岩を挟む。この基盤岩の上位を不整合に覆つて鮮新統の湖成層が分布する。すなわち下から美麗・古野・市之原・暮明・大泉の5累層からなる桑名層群である。さらにこれらの上位には更新世の蓮花寺累層河成層が集まつている。

この付近の地質構造は多度山南方の多度背斜と桑名西方の桑名背斜が知られている。